

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

都心

2013年(平成25年)10月25日(金曜日)

都心 地域の情報 24

出所者支援「居酒屋で雇用」

「歌舞伎町から生き直し」

刑務所出所者に働く機会を提供し、再犯防止や社会復帰を促す飲食店「出所者支援居酒屋」を新宿区歌舞伎町につくるプロジェクトの第一回実行委員会が二十四日、区内で開かれた。実行委員で公益社団法人「日本駆け込み寺」代表理事の玄秀盛さん(五七)は「歓楽街の歌舞伎町から生き直しを発信することに意義がある」と意気込む。

(杉戸 祐子)

新宿区長ら 実行委が初会合



二〇一二年の犯罪白書によると、一般刑法犯で摘発された人のうち、再犯者の占める割合は一九九七年から増加の一途。出所後に仕事を不得られず、生活苦から再犯に至る場合があり、出所後の雇用の確保は重要な課題となる。また、雇用側が先入観から雇用を控えるケースもあり、改善が求められている。

委員会には、委員長 歌舞伎町の地図を広げ、アイデアを出し合う実行委員会のメンバー―新宿区で

の政策シンクタンク「構想日本」代表加藤秀樹さんのほか、元宮城県知事の浅野史郎さん、中山弘子新宿区長らが実行委員として参加。二〇一四年春のオープンを目指し、運営形態や研修・監督方法、住居の問題、地域

との連携などについてアイデアを出し合った。内閣府が今月発表した「再犯防止対策に関する特別世論調査」で「再犯防止に必要なこと」に対する回答の第一位は、「住居と仕事を確保して安定した生活基盤を築かせる」だった。玄さんは「飲食・接客業で人の輪に入って関係を築き、過去を肯定した生き方を目指せるように。社会復帰の入り口をつくりたい」と狙いを語った。